

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 高岡 宏和

- I 開催年月日 令和 6 年 7 月 29 日（月）
- II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 18 分
- III 出席委員等 〔出席委員〕◎高岡 宏和 ○田中 勝文 熊木 義城
横田 誠二 山口 泰祐 酒井 善広
上田 武 水口 清志
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕 本田 利麻
〔副議長〕 ※横田 誠二 副議長は委員として出席
〔説明員〕 別紙名簿のとおり（横山農地林務課長が公務のため欠席）
〔委員外議員〕 新開 広恵
〔事務局職員〕 高嶋 史恵 島田 輝 二口 崇
〔傍聴者〕 1 名

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、報告はなかった。 〉

2 その他

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【大雨による浸水対策について】

- 能登半島地震からの復旧に向けて、市当局の所管課はそれぞれ努力されており、そのことに敬意を表する。先般、吉久地区における床下浸水についての報道があった。梅雨時期の雨水の浸水対策として、土のう袋の設置などはしていると思うが、ほかにもどのような対策をしているのか。
- △ 吉久地区については、液状化により民地側がかなり下がったところがあるため、そこに集水管を入れて水を受けることにより、スムーズに雨水幹線に流すという対策を行っている。また、雨水幹線が少し盛り上がったような状況になっているため、雨水幹線の負担を軽減するため、仮排水路を整備して雨水を分散させるという取組も行っ

ている。

- △ 令和6年6月23日は、1時間あたり20ミリメートル、場所によってはそれ以上の急激な雨が短時間に降った。このため、吉久地区だけではなく、伏木地区をはじめとする様々な地区で路上に水があふれるという状況が発生した。土のう袋も設置しているが、急激な大雨については、いかに雨水幹線を整備していたとしても影響は出るものと考えている。今後、本復旧に向けて、完全にゼロにすることはできないと思うが、宅地等へ影響が少ないような工法も検討していきたい。本復旧までしばらく時間はかかると思うが、それまでできる限りの応急対応を行っていきたい。

【液状化被害に対する支援に関する相談状況等について】

- 令和6年6月定例会で、液状化被害に対する支援が拡充されたが、支援内容についての相談状況や被災地の住民の方々の反応はどうだったか。
- △ 7月に入ってから、伏木地区の9自治会をはじめ、吉久地区や横田地区など被害の大きかった自治会において、液状化被害宅地復旧支援事業をはじめとする支援制度についての説明会を行った。その説明会の中では、どのようなケースに液状化被害宅地復旧支援事業が適用できるのか、どのような制度と併用できるのかといった相談を受けた。また、個々の事情により期限内に工事をするのが難しいといった意見もいただいたが、その点については今後検討していきたいと回答したところである。
- 市には、支援内容について非常に分かりやすいパンフレットを作成していただいた。また、新しい支援制度は被災地の住民にとって心強いものになると思う。工事の期限についての住民の要望については、改善できる余地があるのではないかと思うので、引き続き、被害に遭われた方々の話を聞きながら、寄り添った支援に取り組んでいきたい。（要望）

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- (1) 富山 WEST ビジネス交流交歓会 2024 in 大阪の開催について
- (2) とやま呉西圏域連携事業「ものづくり開発・経営支援セミナー&相談会」の開催について
- (3) とやま呉西圏域起業・創業支援事業「先輩創業者に学ぼう！起業・創業セミナー」の開催について
- (4) 伝統工芸ワークショップについて
- (5) イベントの開催について（高岡七夕まつり、リバーサイドフェスタ 2024）

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【伝統工芸ワークショップについて】

- 例年、冬の日本海高岡なべ祭りの時期に行っていたが、今回、夏の高岡七夕まつりの時期に変更した理由は。

- △ 事業実施後、毎年、連携各市と次年度の開催内容や時期について協議している。令和5年度のワークショップ終了後、南砺市の体験講師を行った方々から、降雪のため冬の時期は出てくるのが難しいという声があったため、6年度については、夏休み期間でもあり、集客も見込まれる夏の高岡七夕まつりの時期に開催することとしたものである。
- このイベントの開催目的については、品物等のPRもあるだろうが、後継者育成という面もあると思う。夏休み期間中に開催するということであれば、広く市内外の小中学生にPRをすべきである。もし、7年度以降も夏に開催していくということであれば、教育委員会ともタイアップし、後継者育成の観点から、子どもたちにPRをして実り多いにぎやかなイベントにすることを考えていただきたい。(要望)
- △ 開催時期については、今回は南砺市の意見を踏まえ、集客も見込まれる8月の高岡七夕まつりの時期に合わせて実施するという方法にまとまった。今後、夏場の実施が定着していくことになれば、ご指摘のとおり、市内外の小中学生のPRにも努めていきたい。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（２７名）

産業振興部長	式 庄 寿 人	都市創造部長	赤 阪 忠 良
産業振興部次長	長 久 洋 樹	都市創造部技術政策監	梶 本 敏 規
産業振興部次長	須 田 稔 彦	都市創造部次長	伴 孝 宏
産業振興部参事（兼務）	伴 孝 宏	都市創造部次長 都市計画課長	山 森 久 史
産業企画課長	今 方 順 哉	景観みどり課長	田 口 昌 子
商業雇用課長	中 川 正 人	道路整備課長	中 出 裕 嗣
観光交流課長	野 村 岳 人	土木維持課長	中 澤 俊 一
農業水産課長	割 田 一 郎	建築政策課長	氷 見 和 人
農地林務課長	横 山 太 一	営繕課長	井 林 哲 雄
みなと振興課長	上 田 浩 樹	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂 徳
地域振興交流課長	有 栖 友 広		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
農業委員会事務局長（併任）	須 田 稔 彦	上下水道局次長	寺 井 義 則
		総務課長	小 久 保 光 章
		営業課長	熊 本 敬 二
		水道工務課長	片 岡 利 行
		下水道工務課長	高 林 隆
		施設維持課長	村 栄 正 英